TOKYO KASEI UNIVERSITY

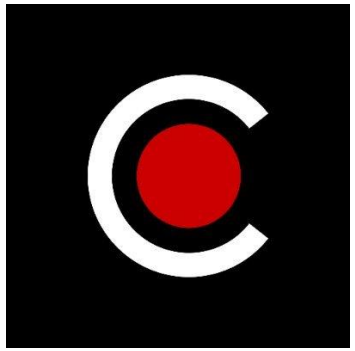
都市における芸術・文化資源を活用した鑑賞教育に関する研究

＜研究者＞和田菜穂子（代表）、亀井靖子、倉方俊輔、松岡恭子

東京家政大学ヒューマンライフ支援機構
プロジェクト研究助成費

「建築」＝「都市の文化資源」

アメリカ・シカゴにて鑑賞教育の実態調査



研究背景と目的

- 我が国における**一般**を対象とした**建築ツアー**のビジネス化を目指した調査

- 世界の**ビジネスモデルの成功事例**の調査

- ポストコロナ時代の展望について考察

研究方法

シカゴ建築センター（Chicago Architecture Center）を訪問
2023年8月14日ー23日（10日間）

実態調査　（複数のツアー体験、ボートツアー、ウォーキングツアーなど）

聞き取り調査（教育部門の運営スタッフ、ガイド、参加者）

ウェブサイトで過去の実績調査（収益）

ボートには一度に最大250人乗ることができる

１.5時間＝54ドル

一般に向けた教育プログラム

建築ツアー、展覧会、
若者向け学習プログラム、講演会など

建築ツアー
- リバークルーズ
- ウォーキングツアー
- バスツアー
- トレインツアー

リバークルーズ	318,336
ウォーキングツアー	22,121
センター	35,159
教育プログラム	5,111
パブリックプログラム	30,791
合計	411,518

2022年のCAC建築教育プログラムの参加者数（人）

TOKYO KASEI UNIVERSITY

ウォーキングツアー

＝対話型の建築鑑賞教育

赤いシャツの人
＝ヴォランティア・スタッフ
DOCENT

DOCENT（解説員、ツアー講師）になるまで

① 書類審査

② 面接

③ 研修プログラムに参加
（約９週間）

④ メンターと１体１でツアー実践
ウォーキングツアー2本
リバークルーズ

⑤ DOCENTに認定

2020年　ヴォランティア登録・契約数

DOCENT	354人
教育プログラム	39人
展覧会解説員	114人
ゲストサービス	46人

DOCENTの貢献度を時間で示す

10,461時間（2020年）
＝30時間／1人

まとめと考察

（１）CAC教育プログラムの充実

①一般市民に対するプログラム
- ウォーキングツアー
- リバークルーズ
- バスツアー
- トレインツアー
- 展覧会
- 講座（オンライン含む）
- 若者支援プログラム
- フィールド・トリップ
- デザインコンペ

②ヴォランティア育成プログラム
- DOCENT教育
- その他ヴォランティア

建築や都市に対する興味・関心、愛着が生まれるCIVIC PRIDEの醸成

（２）ビジネスモデルとしての分析

ツアー収益は全体の６割
リバークルーズが収益の柱
＝オンラインよりもリアルな体験

寄付金、スポンサー、会費、開発費、
ショップ売上などは３−４割

魅力的なプログラム

豊富な人材

シカゴ川を中心に街全体が観光資源

CACの立地の良さ

シカゴの街が建築文化遺産、観光資源になっている